

新宿区の中小企業

現状と区の施策

新宿区 事業所数・従業者数

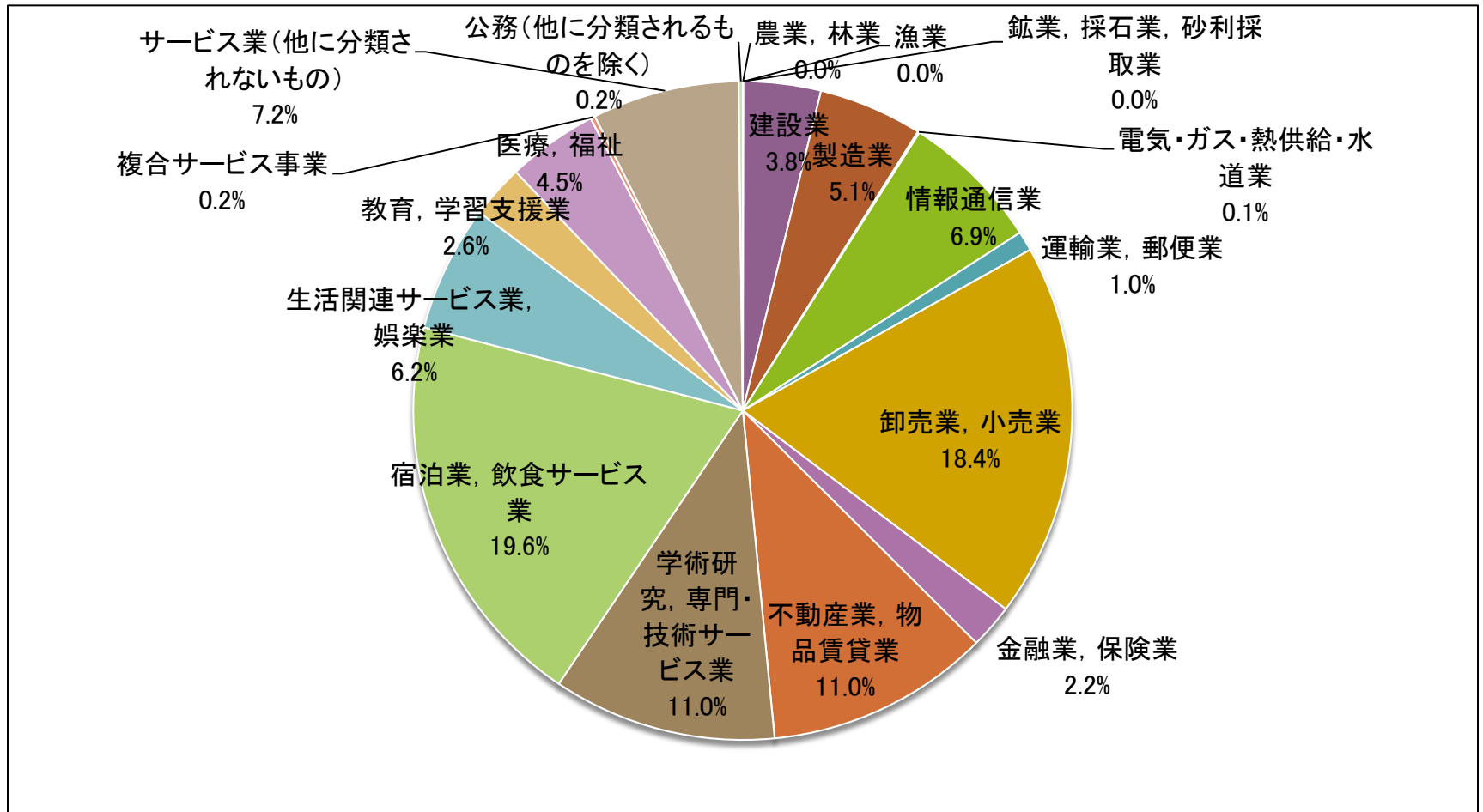
□ **事業所数** 35,154事業所^(※)(4位/23区)

(※)事業内容等不詳を除く

□ **従業者数** 676,639人(4位/23区)

「平成21年経済センサス-基礎調査(東京都)」より

新宿区 産業大分類別事業所構成比



「平成21年経済センサス-基礎調査(東京都)」より

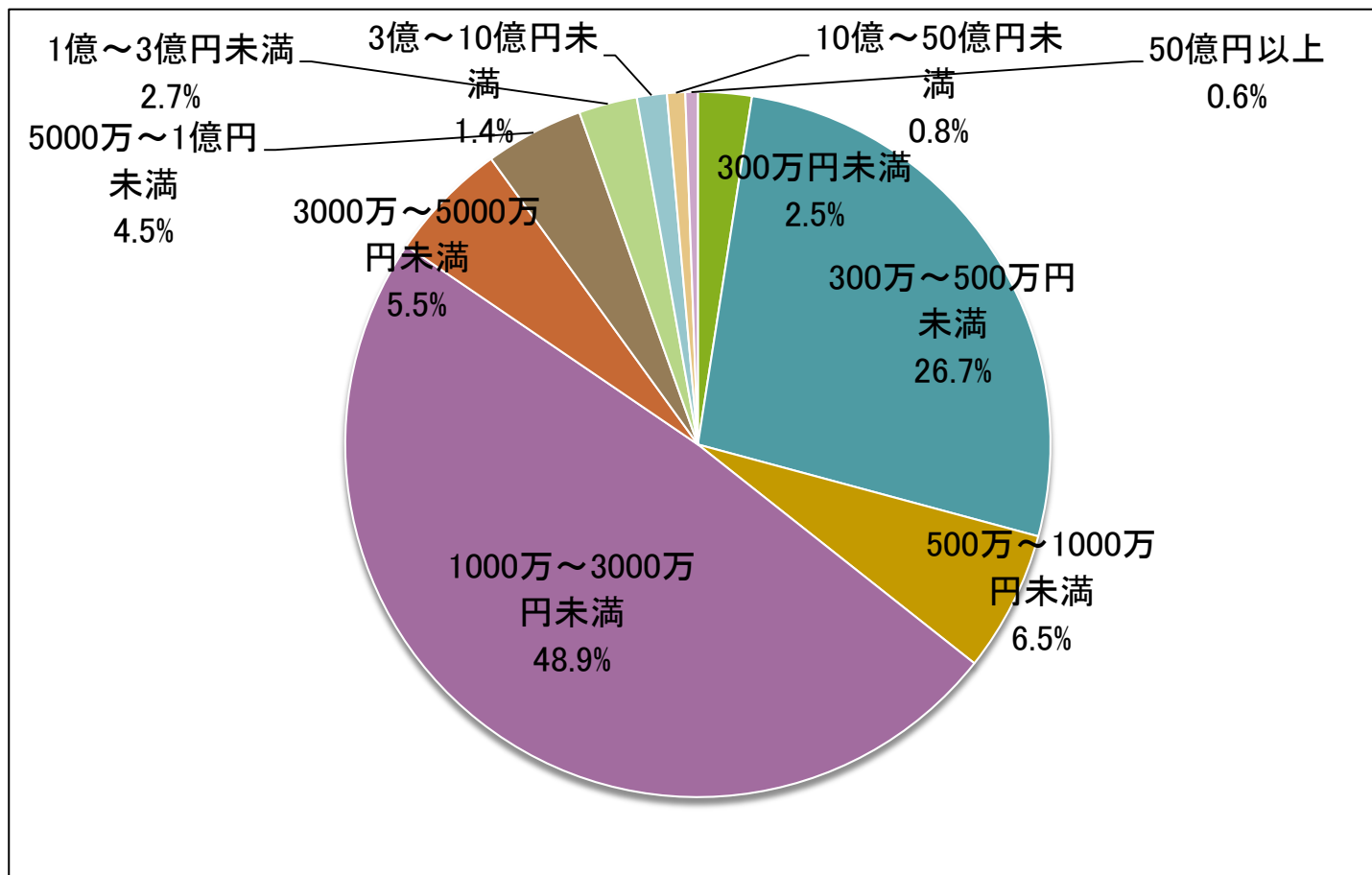
中小企業の定義

中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条第1項各号に規定

業種	定義
製造業その他	資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人
卸売業	資本金の額又は出資の総額が1億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人
小売業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人
サービス業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人

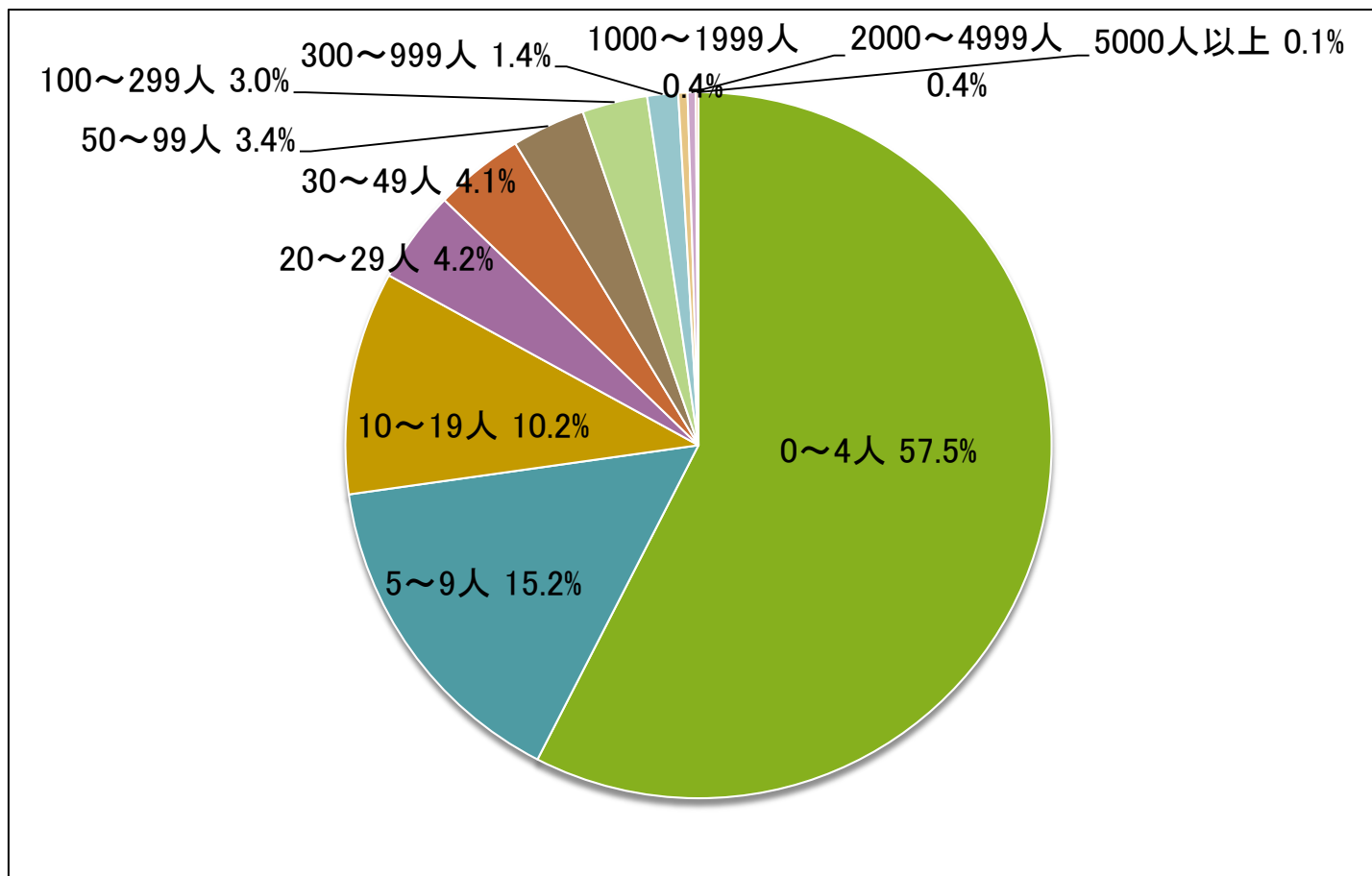
新宿区の中小企業

□資本金階級別 会社企業割合



「平成21年経済センサス-基礎調査(東京都)」より

□常用雇用者規模別 会社企業割合



「平成21年経済センサス-基礎調査(東京都)」より

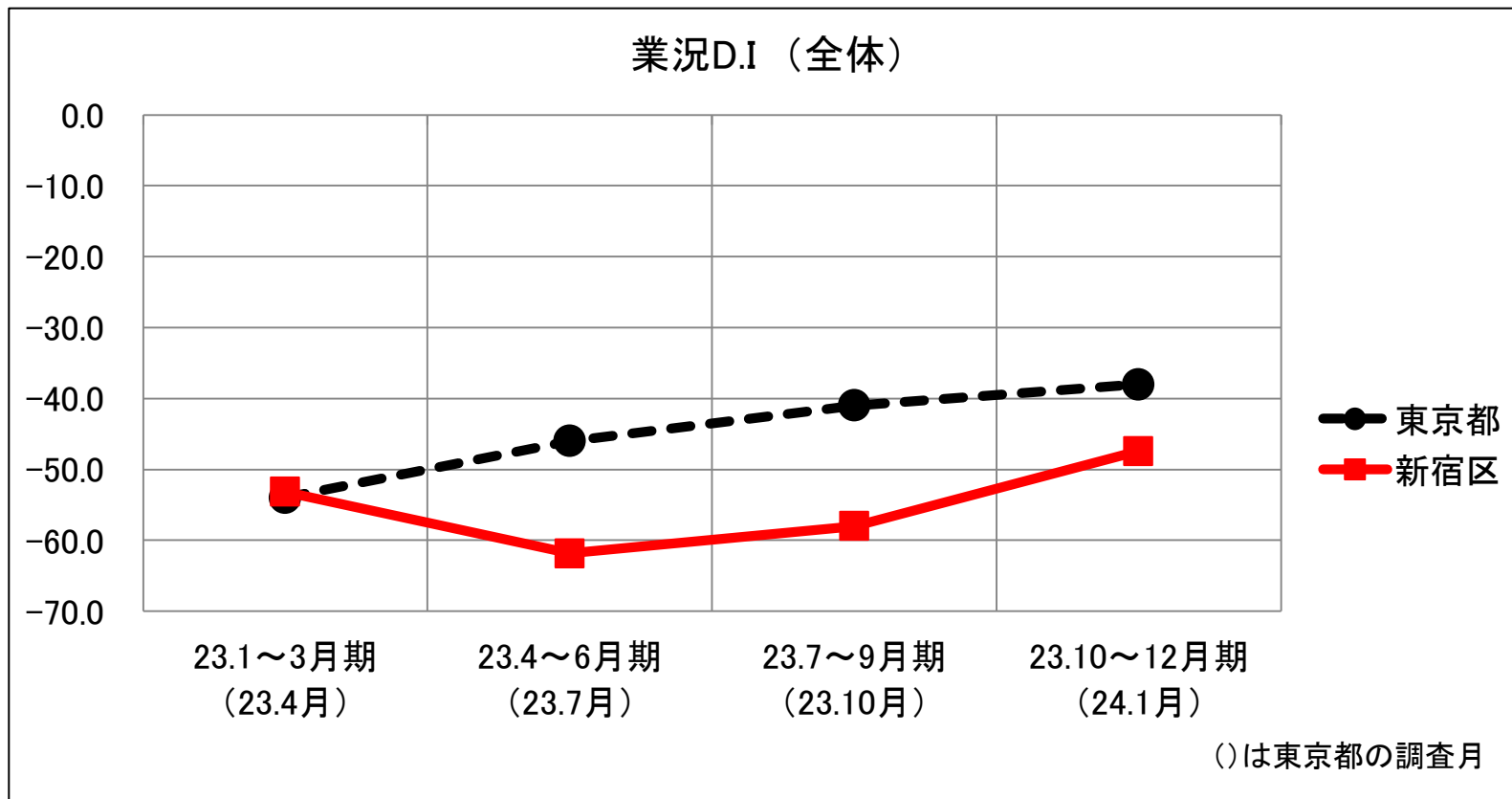
新宿区中小企業の景況

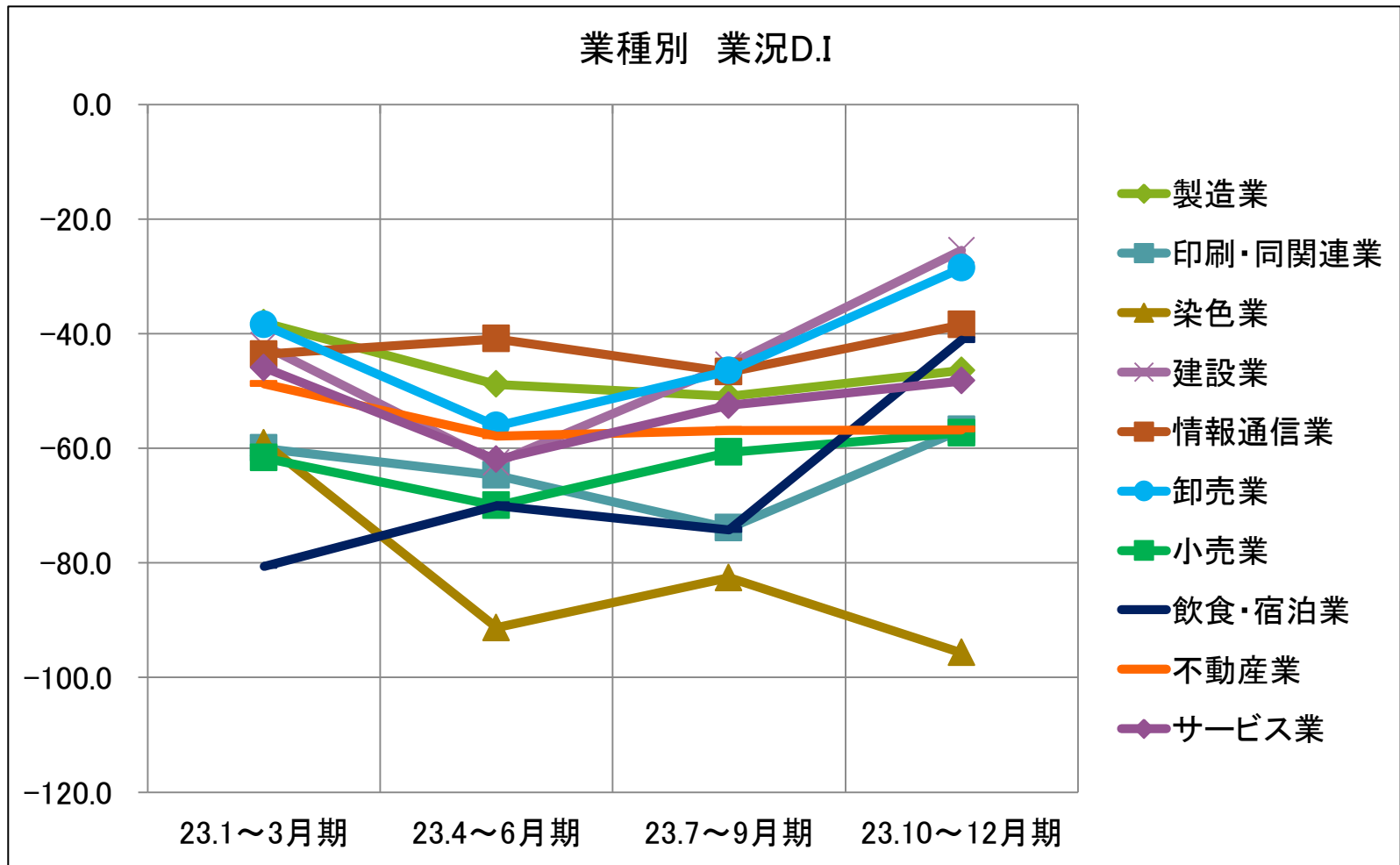
「新宿区 中小企業の景況」

新宿区では、区内中小企業に対する「景況調査」を年4回実施している。

【調査対象業種】製造業、印刷・同関連業、染色業、建設業、情報通信業、卸売業、小売業、飲食・宿泊業、不動産業、サービス業

【調査方法】郵送アンケート調査 【調査機関】(株)東京商エリサーチ





業況: 経済全体の景気状態ではなく、個々の企業ないし産業の景気状況。

D. I(ディーアイ): Diffusion(ディフュージョン) Index(インデックス)の略で、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のこと。不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものである。

【コメント調査結果】（抜粋）

- 求める人材（多少の専門技術を要する人）がいない。また、資金調達も問題。代金回収と材料人件費支払とのギャップ（時期）を考えると大きな仕事の受注が難しい。（製造業、23年1月～3月期）
- 市場全体のパイが年々減り、同業者の価格競争が年々激化している。下落率は企業を維持する収益をはるかに越え、その価格で受注して倒産しないのが不思議な位である。（印刷業、23年7月～9月期）
- 震災前後の納品にかかる売掛金回収が遅れる状態が続いています。9月末の回収を目処に制度融資の活用によって資金繰りを確保しましたが、改善の兆しは期待外れとなっています。～中略～ 伝統的工芸品産業全体が、日本文化の下支え的な理念から脱却して、この震災を契機に変わりつつある日本人の生活スタイルに柔軟に呼応して、業界としての提案をすることができるのか、他産業組合とも積極的な情報交換をしながら、業界全体として取り組むことに着手したところです。（染色業、23年7月～9月期）
- ボリュームある仕事が減り、単発の仕事が主になってきたことで、余計な経費（パーキング、ガソリン、多種類の材料、他）がかかるようになった。収益は下がる一方なのに、人件費、材料費は変わらず、月末が怖い。（建設業、23年7月～9月期）

- 顧客からの値下要請が止まない。契約期間が短い上、次の契約継続時には必ず値下要請となる。従業員の賃金アップの期待に応えることができず、労働意欲をそいでしまう。(情報通信業、23年1月～3月期)
- 収益は出ているものの、売上の減少が今後の不安材料。新興国及び国内の需要の伸びに期待したい。資金繰りについては、十分なキャッシュフローであり、心配なし。(卸売業、23年10月～12月期)
- 売上はほぼ前年並みだが、借入金の返済が資金繰りを圧迫している。返済額の減少ができ、少し楽になった。売上増が一番の解決策だが、思うようにならない。(小売業、23年4月～6月期)
- 客数はもどりつつあるが、客単価の大幅下落と円高により、収益は震災前と比べかなり悪化。原発の安全性の向上と円安の方向が見えないと収益の改善は見込みが薄い。(飲食・宿泊業、23年7月～9月期)
- 経営状況全般については安定しているが、地代や電気料金等、必要経費の値上がり気配は気になっている。(不動産業、23年10月～12月期)
- 売上は対前年プラスとなるも、競争の激化により利益率が低下し、経営環境は極めて厳しくなっている。そのうえに、近年の円高が追い打ちをかける事により、厳しさが増幅されている。(サービス業、23年7月～9月期)

区の中小企業施策(平成24年度)

- 中小企業向け制度融資
 - 金融機関への融資の紹介、利子補給・信用保証協会の保証料助成
- 商工相談
 - 商工相談員(中小企業診断士)による経営上の問題についての相談業務
- ビジネスアシスト新宿
 - 企業育成指導の専門家を長期間継続派遣、企業の発展段階に応じたアドバイスを行う
- ものづくり産業支援事業助成
 - 新製品開発・技術開発・販路拡大等の事業費用の一部を助成(対象経費の3分の2、限度額100万円/件)

- **新宿ものづくりマイスター認定制度**
 - **ものづくり産業の同一業種に10年以上携わり、後進の指導をし、優秀な技術・技能を持つ技術者を認定**
- **ものづくり産業体験型教室**
 - **新宿ものづくりマイスター「技の名匠」や地場産業等の認知度向上のため体験型教室を実施**
- **後継者育成支援**
 - **地場産業の新たな技術者を育成するための運営費を一部助成(1事業所・1人・1か月あたり8万円以内)**
- **産業振興フォーラム**
 - **経営課題・地域課題についての意見交換を目的に実施**
- **優良企業表彰**
 - **地域産業の発展と向上に貢献した企業を表彰**

施策の実施状況(平成22年度)

□ 中小企業向け制度融資

	件数(件)	金額(千円)
紹介	2,208	16,556,269
貸付	1,802	12,450,920

□ ビジネスアシスト新宿

育成企業数	8社
-------	----

□ ものづくり産業支援事業補助金

支援企業数	5社
-------	----

専門部会(中小企業)

- ・ 中小企業向け制度融資
- ・ ビジネスアシスト新宿
- ・ ものづくり産業支援事業補助金

施策を活用した事業所にヒアリング



施策の有効性について検討